

瀬川に親しみながら環境について考えよう B&G海洋環境教室

第3回



【担当：教育委員会事務局 平山】

「着衣泳」と「ライフジャケット」の安全装着について学ぶ

第3回目となる海洋環境教室では、着衣泳とライフジャケットの安全装着について学びました。

今回は、瀬棚小学校4年生を対象に実施している「B&G海洋環境教室」の一環として、誤って海や川に転落してしまったとき、「服を着ていると泳げない、沈む」という固定観念を無くし、服を着ていてもちゃんと浮いて救助を待つことが出来ることを知り、少しでも痛ましい水の事故を減らすことを目的に実施しました。

瀬棚海上保安署（四倉修二署長）の中源次長と巡視艇「あかしあ」（三浦英樹船長）乗組員皆さんの協力をいただき、瀬棚小学校（長江朋子校長）の全校生徒124名が、低・中・高学年に別れ、各学年ごとに内容を変えてチャレンジしました。



浮き身の体験



ペットボトルを抱えての浮き身



ライフジャケットの浮力を体験



落水者救助の実技

準備運動の後、水慣れとしてプールウォーキングを行い、中源次長のデモンストレーションを見学。

昔は、落水したら泳ぎづらい靴を脱いで…でしたが、最近の靴は非常に浮きやすい材質に変わっているので、脱ぐ必要はなくなりました。

まず始めに、自分の身を守る「浮き身」の姿勢を実際に体験。その後、身近な浮く物「ペットボトル」を抱えての浮き身にチャレンジ。そして、ライフジャケットの装着方法を学び、実際にどれくらい浮くのか体験してみました。

ライフジャケットを初めて装着する児童が大半で、「こんなに浮くとは思わなかった」など、感想を話していました。

授業の最後には、巡視艇「あかしあ」乗組員による救命浮環やペットボトルとロープを使用した落水者救助の実技を見学し、児童たちも実際にチャレンジしてみました。

落水者への声の掛け方や救助具の投げ方などを教わり、児童たちは真剣に取り組んでいました。

特に高学年の5・6年生は一斉参観日の公開授業となり、参観した父母も子供たちの真剣な姿に見入っていました。

瀬棚町臨海 風力発電所の概要

- ▶ **発電所名**：瀬棚臨海風力発電所
- ▶ **所在地**：北海道瀬棚郡瀬棚町
- ▶ **出力**：12,000キロワット(2,000キロワット×6基)
- ▶ **年間発電電力量**：約3,500万キロワットアワー [一般家庭 約1万世帯分の年間消費電力量に相当]
- ▶ **年間CO2削減量**：約2.5万 t-CO2・年 [乗用車 約3万台分の年間排出CO2量に相当]
- ▶ **設備利用率**：約33%
- ▶ **総事業費**：約28億円
- ▶ **受電会社**：北海道電力(株)
- ▶ **工事工程**：平成16年6月 着工
平成17年度内 営業運転開始(予定)

6月25日に開催された安全祈願祭



平成17年度の運転開始を目指し工事が進められている

このたび、瀬棚町が建設した国内初の洋上風力発電事業とともに、瀬棚沿岸域における再生可能エネルギーの有効活用事業として期待されている電源開発株式会社による風力発電の開発がスタートしました。

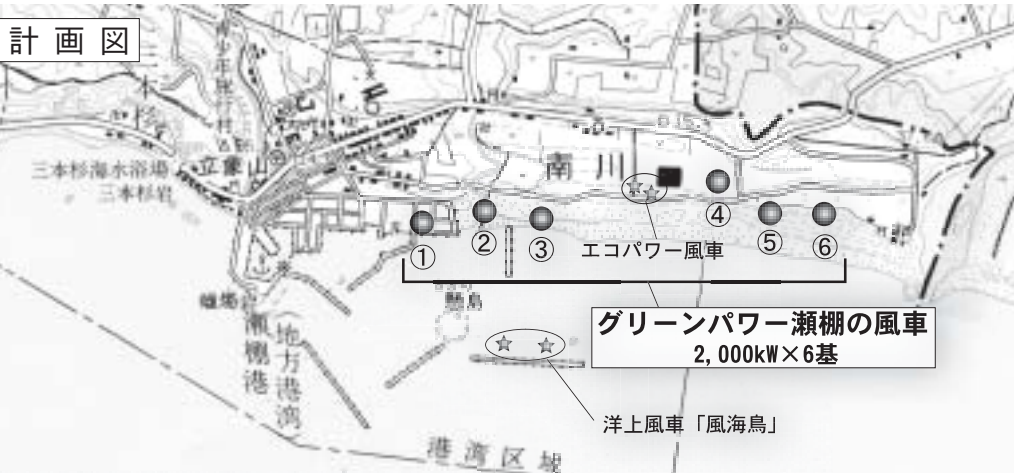
電源開発株式会社は、事業会社「株式会社グリーンパワー瀬棚」を設立。6月25日には、瀬棚臨海風力発電所の建設を開始するにあたって工事を施工する川重・五洋JV主催で安全祈願祭を開催しました。

本発電所は、国内最大級(単機出力：2,000キロワット)の風力発電機(6基)を瀬棚町臨海部に設置する計画で、平成17年度の運転開始を目指し工事が進められます。

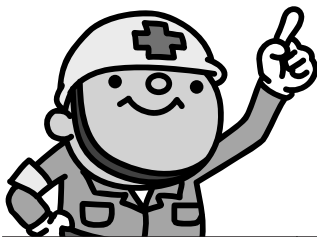
グリーンパワー瀬棚が瀬棚臨海風力発電所の建設を開始

問い合わせ先
産業振興課 産業振興係

TEL 7・3311



入札予定価格と入札結果の公表について



予定価格が130万円を超える建設工事及び 予定価格が50万円を超える建設工事に伴う調査・測量・設計等の委託業務について「入札予定価格の事前公表」をしています(随意契約については「事後公表」)。あわせてその「入札結果の公表」についても実施しております。(下記一覧表) なお、入札執行の状況についても役場前の掲示板に公表し、建設水道課でも閲覧しています。

7月27日入札執行分

工事(業務)名	契約の方法	契約業者名	契約金額	予定価格	落札比率	完成期限
森林管理道大里線橋梁新設(下部・工事製作) 工事	指名競争入札	松本・橋JV	2,782万5,000円	2,835万円	98.1%	H17. 2.27

※金額はいずれも消費税込みの金額です。落札比率は小数点第2位で四捨五入しています。

【担当：建設水道課 金澤】